

月刊  
JMITU

# なげやり

新型コロナ対応版



「なげやり」

7月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部  
セガ グループ分会 2021年発行

No.439

## コロナ感染爆発の中

### オリンピック開催強行

ができない。

感染が過去最悪ペースで拡大する状況で、東京オリンピック大会が23日強行されました。新型コロナウイルス感染症

選手生命はおろか命を奪うことになる。それがオリンピックの本望ではないはず。

拡大で医療体制がひっばくし、ワクチン接種も遅れる中、国民の大多数が開催反対で、中止延期を求める声を無視した。開催強行に対して許されるものではありません。

自分の時間と人生の全てをかけて打ち込んできた選手達に、安全でフェアで全力投球できる大会をコロナ後に開催すべきでした。

国内では1万5千人の人達が亡くなっている。感染は変異しながらまだ拡大している。

選手や大会関係者の感染者が1000名を越える中、ニュースでは、五輪関係者に感染が出た場合の受け入れ先になっ

ながらまだ拡大している。ワクチン接種も進みつつあるがまだまだ不十分。PCR検査も大規模実施していない。

いる病院の中等症病床がすでに満床だと伝えていました。状況は厳しいなんてものでは

医療崩壊が起きて、飲食店は潰れ続け、コロナ失業者が10万人と言われている中で、五輪を心から楽しむことは、残念だ

また、ウイルスの潜伏期間などによって、大会中に陽性が確認されない選手や大会関係者が、世界にウイルスを拡散させる可能性がある」と国内外の専

門家たちは指摘しています。

政府は緊急事態宣言を出し、

心、安全な開催が来ているのだろうか？

国民にはあまり出掛けるなと言いつつ、外国からどんだん人を入れる。航空自衛隊のアクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」を飛ばし、大勢の観客を集める。全てが矛盾している。素直に五輪を楽しめない。

この経費を少しでも、医療関係者や飲食店、コロナ対策に使っていけば、どれだけ助かる命があつただろうか。

コンパクト五輪のつもりが大会経費は約1兆6000億円。関連経費も含めると、総額

五輪の後はどうなる？ コロナがかつてない感染をひろげ、政府は、相変わらずの対応が来ない。政府を変えないと日本は衰退するだけ。

で3兆円を超え費用をかけて、開会式については、解任にも関わらず内容変更なし、どんな

菅政権も支持率3割切り、時間の問題です。コロナ禍では無策。在任中にした事は、Gott

に素晴らしいものかと思えば、ネタバレのリハーサルそのまま。サプライズなし、マスクを

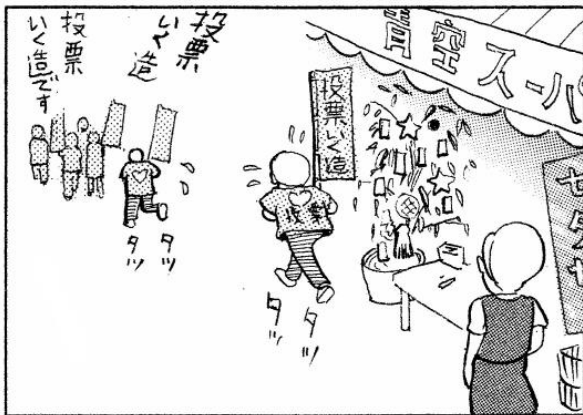
強行開催だけ、国民に苦しみだけを与えた人。それでも、投票率が低いと自民が政権を取ります。支持をしないでなくても投票に行かなければ変わりませ

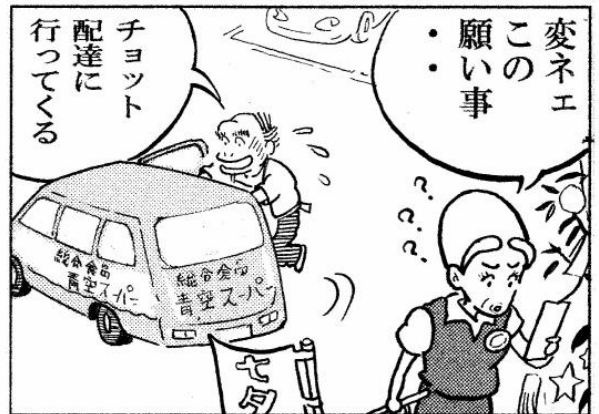
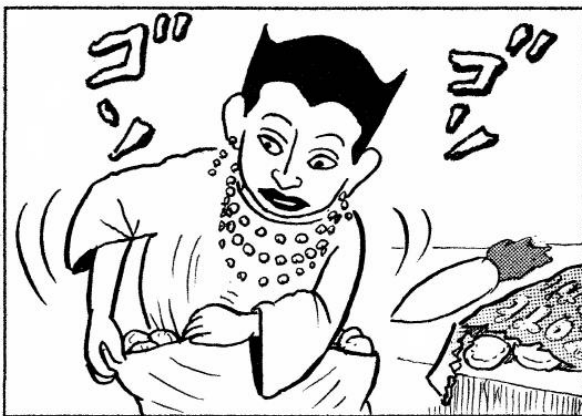
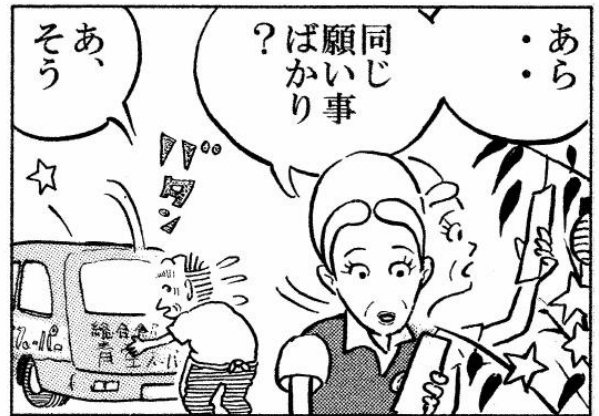
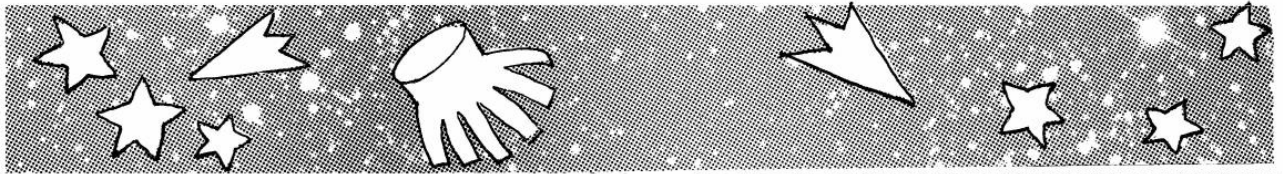
ずす選手たち、バッハ会長のスピーチが長く、国立競技場の地面にゴロ寝する選手が続出。税金の無駄遣い。どれを見て安

ん。衆議院選挙は投票に行きましよう。

# 4こ末漫画

川崎よしき





掌編小説

魔女

仙洞田一彦

記憶も五十年以上前になるとだいぶあやしくなる。

ついこの間、「ハムレット」

や「ロミオとジュリエット」

などの作者シェイクスピアが

話にのぼった。シェイクスピア

アを研究している友人が本を

送ってくれた。たまたま私も

シェイクスピアを読んでいた

ので気持ちを動かされ、すぐ

に礼状を書いた。

「シェイクスピアとの出会い

は、まだ田舎にいた頃、甲府

のアマチュア劇団の連中と日

比谷の日生劇場に『オセロー』

を見に来たというのが最初だ

と思います。日生劇場の天井

に近い席、いわゆる天井桟敷

から見ました。なぜ劇団四季、

日生劇場かというと、アマチ

ユア劇団に四季につながるの

ある者がいたからだと思いま

す。オセローを尾上松緑、イ

アゴーを垂水梧桐ではなかつ

たかと思いません。あやふやで

すが」

末尾に「あやふやですが」

と付け加えたが、私には、こ

の記憶は確信に近いものがあ

った。

そのあと図書館に行く機会

があったので書架を探し、記

録がありそうな演劇関係の本

を見たが、確実なところは得

られなかった。

ところが、それが偶然わか

ったのだ。最近、松岡和子と

いう翻訳者がシェイクスピア

の戯曲全作品の翻訳を終えた

ことが話題になった。ちくま

文庫『シェイクスピア全集』

第13巻『オセロー』の巻末

に「戦後日本の主な『オセロー』

上演年表」がある。

そこに次のようにあった。

「一九六九年三月～四月 日

生劇場制作 浅利慶太演出／

福田恒存訳……(略)……○

尾上松緑、D 岩下志麻、

I 日下武史……(略)……

東京・日生劇場」

この記録だけでは、私が見

たかどうかはわからない。私

は自分の手帳を見た。一九六

九年四月六日のところに『オ

セロー』を見る。尾上松緑に

不満などと、ちよつと生意

気な記述があった。これで記

憶は結び付いた。

「年表」の「O」は登場人物

オセロー、「D」は、デズデモ

ーナ、「I」はイアゴーである。

一九六九年には、私はす

で東京にいた。だから手紙の、

田舎から出て来て観た、とい

うのは記憶違いだ。またイア

ゴーを垂水梧桐などと書いて

いるが日下武史だった。これ

もかすかだが、記憶をさかの

ぼるとイアゴー役者、つまり

日下武史が際立っていたよう

な印象が残っている。

では、みんなで上京し、観

劇したのは何だったのか。一

九六九年四月六日は日曜日だ

から、田舎から出てきたみん

など日比谷の日生劇場前で合

流したのでろうか。それなら

手帳に何らかの記述がありそ

うなものだが、何もない。記

憶にかけるもない。

首相が「東洋の魔女」と言

った。その言葉を聞くとすぐ

に思い出す光景がある。別に

「何年のこと」あるいは「前の東京オリンピック」などと言われなくても、その言葉は脳裏に刷り込まれている。

私はその年に高校を卒業し、地元、甲府の会社に就職した。その年十月十日が開会式だ。その日晴れていた記憶はある。何時から開会式が始まったのかは憶えていない。今はインターネットで簡単に調べられる。調べてみると、その日は土曜日で、午後開会式だったようだ。

だいぶ前になくなってしまう。飼料会社で、私は総務課にいた。という総務課に何人もいたような感じだが、四年も勤めていたのに他に誰がいたのか思い出せない。事務所はひとつで、二十人くらい

いたのだろうか。私は事務机四つを向きあいに並べた島にいた。そこからちよつと離れたところに総務課長の席があった。その席四人が総務課員ではなく、二人は経理課だった。差し引きすると私ともう一人が総務課だったのか。いや、四人のうちの三人が経理課で、総務課は私だけだったかもしれない。

開会式の日、土曜日通常の出勤だから仕事をしていた。工場は月曜日から金曜日は昼夜二交代で、土曜日は昼のみだから工場の人数は約半分。それで開会式が始まる時間、工場の人も、事務所の人も、みんな仕事を止めて会社の食堂に集まった。全員が座れるわけではなく、立ったままの人もかなりいた。そのテレ

ビで開会式の様子を見た。おそらく一時間くらい見て、みんな仕事に戻ったのだ。テレビといっても、現在見られるような大画面ではない。当時の家庭にあったものより一回り大きいくらいだった。食堂の片隅の上のほうにテレビを置く三角形の棚板があり、そこに載せられていた。当時テレビといえば白黒が普通だった。会社の食堂はカラーテレビだった——ような気がする。カラーだったからみんなに見せたし、みんなも見なかったのではないかと思ったりする。

「東洋の魔女」というと、開会式を会社の食堂で見たというのを思い出すのだ。中身は覚えていない。「東洋の魔女」の主将が、たしか山梨県出身で、それで甲

府も盛り上がっていたような記憶もある。二十数年前、職場が川崎にあったころ、その主将を乗せたというタクシーの運転手が、「婆さんになったね」とか言っていたという話を聞いた。タクシーなどめつたに乗ったことがないから、おそらくまた聞きの話だろう。おそらくまた聞きの話だろう。二十数年前の記憶だってあやふやだ。当時、私だって五十を過ぎたころ聞いた話だから主将が「婆さん」になっているのも当然の話。

シェイクスピアの「マクベス」という芝居に「魔女」が登場する。魔女の予言通りマクベスは先の王を殺し、権力を握るが、しまいには予言通り自分も殺されてしまう。

東洋の「魔女」からは、どんな予言が聞こえたのか。